



# さまざまなお尻のトラブルは 歴史ある肛門疾患の専門病院へ

木村病院

「お尻に痛みや出血、はれがあるのに、恥ずかしくてなかなか病院へ行けない」という人は意外と多いはず。受診をためらい、放置したままにすると、さらに症状が悪化することも。長年、肛門疾患と向き合ってきた同院の治療法や取り組みを紹介。また、気を付けたいお尻の症状について、木村院長と山下副院長に聞きました。

**我慢せず、早めの受診が大切  
週4日は女性医師の診察も**

1987年から肛門疾患に受診することが大患の治療に携わり、30年以上の経験を持つ木村院長。「それでも一歩を踏み出さなかった女性に、週に4日は女性医師の診察もあるので、時間を合わせて受診してみよう」と。女性自身の体のケアを後回しにして、治療がき院長。特に力を入れて遅れがち。細やかな配慮を心掛けているから、一人一人に寄り添ったサポートを行っています。「山下副院長。そのほか、極め、手術を行っています。重症化するまで我慢せず、かゆみや痛み、違和感など、症状が軽いう

**女性に多いお尻のトラブル  
気になる症状があれば相談を**

なかでも女性に多いお尻のトラブルの代表的なもののが内痔核(いぼ痔)。便秘や妊娠、立ち仕事などで肛門の血流がうっ滞することが原因の一つとも言われています。また月経前後のホルモンバランスの乱れにより、症状が悪化することも。特に妊娠中は治療が制限されるので、痛みや出血などの症状がある人は妊娠前に一度相談を。このほか、裂肛(切れ痔)を繰り返す場合、直腸や子宮などの臓器が脱出する骨盤底筋機能障害が

ある場合も手術で症状を軽減することができま

最近増えているのは温水洗浄便座の使用で、肛門周辺が赤くただれ、かゆみや痛みを引き起こす肛門湿疹。塗り薬で症状は和らぎますが、洗いきは禁物です。

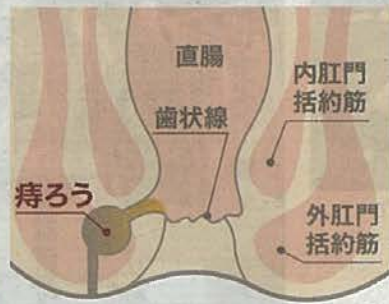
また、大腸がんの低年齢化が進んでいます。気になる症状があれば早めに受診してください。30歳を超えたら定期的に大腸がん検診を受けましょう」と山下副院長。



木村泰之理事長兼院長

詳しく  
教えて!

## 「痔ろう」について



「直腸と肛門の境にあるくぼみや裂肛などで肛門にできた傷口に細菌が入って感染(化膿)を起こす病気です。免疫力が低下すると、肛門腺という袋状の組織に炎症が起こり、悪化すると膿(うみ)が溜まります。膿が出ると肛門に向かって道(トンネル)ができ、これを「痔ろう」と呼んでいます。繰り返すとアリの巣のように進行し、がん化することがあるので治療法は手術しかありません。当院では長い歴史の中で、試行錯誤をくり返し、受け継がれてきた再発の少ない手術を行っています」

木村院長



山下亜津紗副院長



### 木村病院

姫路市南八代町5-3  
TEL.079-296-1115

木村病院 姫路

検索

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	-
14:00~18:00	○	○	-	○	○	-	-

※女性医師は火曜午後、水・木曜午前、金曜の診察を担当 ※月・木曜は大腸内視鏡検査  
※受付は最終診察時間の15分前まで(午前は11:45、午後は17:45)